

令和5年10月4日

令和5年度関東東海北陸農業試験研究推進会議
水田作畑作・作業技術部会 研究会 開催要領

部会長	中日本農業研究センター	転換畑研究領域長	吉永悟志
副部会長	農業機械研究部門	知能化農機研究領域長	林 和信
副部会長	作物研究部門	スマート育種基盤研究領域長	石井卓朗
副部会長	植物防疫研究部門	雑草防除研究領域長	小荒井晃
副部会長	中日本農業研究センター	水田利用研究領域長	白土宏之

1. 目的

2023年夏（6～8月）の日本の平均気温は1898年以降で最も高くなった。関東東海北陸地域においても、高温や干ばつの影響とみられる夏作物の障害が各地で報告されている。そこで、本年度の高温が水稻、大豆等の夏作物に及ぼした影響について、実態を共有するとともに、今後の高温対策に向けて課題の整理や討議を行う。

また、若手研究者を中心とした参加者を募り、研究課題別に少人数のグループ分けを行って相互の研究紹介を行う情報交換の場を設定し、研究者間の交流を促進する。

2. 開催日時 令和5年11月16日（木）10：00～17：00

3. 開催場所 Web会議（Teams）

4. 議事

第1部 若手研究員を中心とした研究情報交換 10：00～12：00

第2部 「2023年夏季高温の実態と気候変動対策技術開発」 13：10～17：00

1) 2023年夏季高温の特徴と水稻作での影響の評価（仮）

農業環境研究部門 エグゼクティブリサーチャー 長谷川利拡

2) 水稻の高温耐性品種の育成状況－高温による白未熟粒、胴割れ粒の発生抑制に向けて－

中日本農研 水田利用研究領域 上級研究員 中込弘二

3) 大豆作における夏季高温・干ばつの影響と対策

中日本農研 転換畑研究領域 グループ長 高橋智紀

4) 各県からの実態報告と総合討議

5. 参集範囲

関東東海北陸地域都県農業関係試験研究機関、普及機関及び行政部局関係者、農林水産省農産局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、農研機構、その他部会長が必要と認めた者

6. 連絡先

〒305-8604 茨城県つくば市観音台 3-1-3 (観音台第3事業場)

中日本農業研究センター転換畑研究領域 栽培改善グループ グループ長 福 陽

Tel : 029-838-8852、E-mail : kanto-suiden@naro.affrc.go.jp

7. その他

詳細については、部会事務局より別途連絡する。

下記の中日本農業研究センターWEB サイト内の推進会議ページにも掲載する。

https://www.naro.go.jp/laboratory/carc/contents/suishin_kaigi/index.html